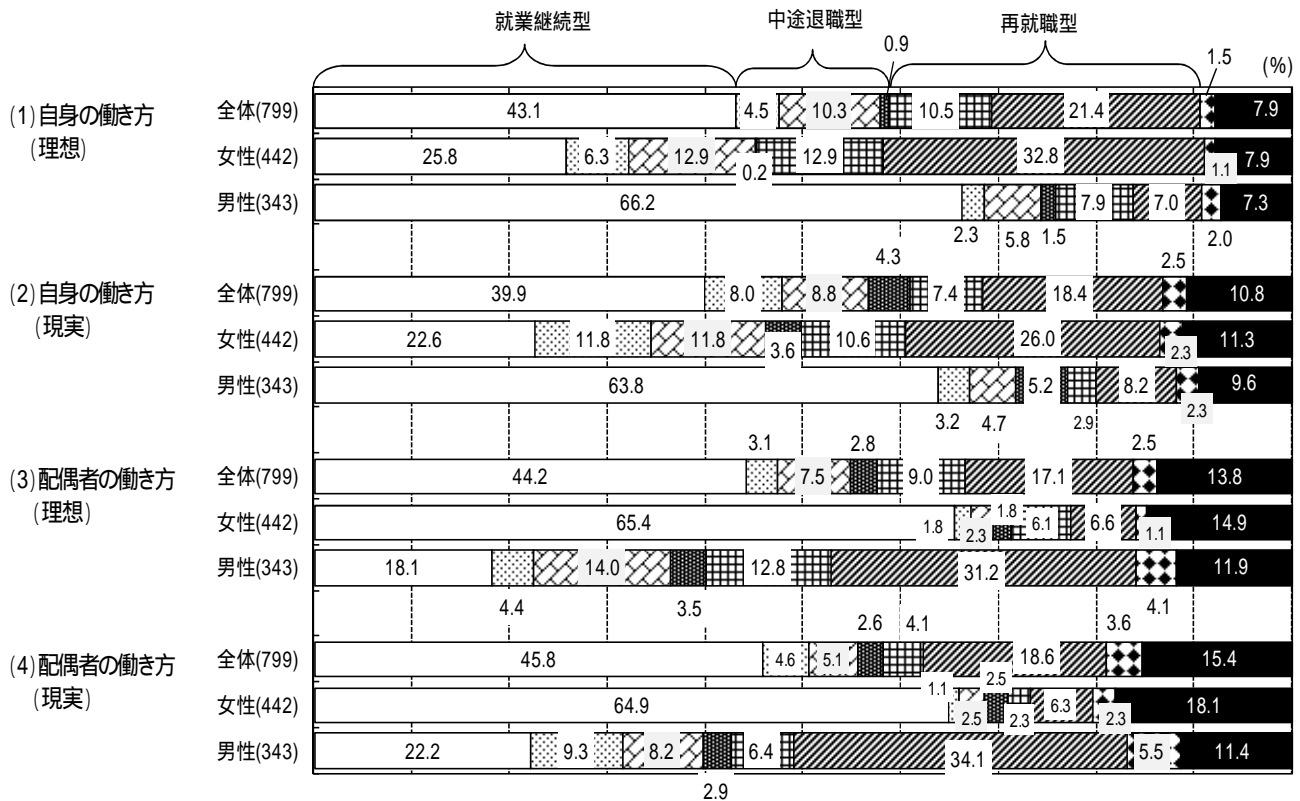


# 働き方

## 6. 働き方

### (1) 夫婦の働き方、理想と現実

問9. ご自身と配偶者の働き方について、理想と現実はどうですか。(1)～(4)について、それぞれ下の選択肢からひとつ選び、番号を記入してください。その他の場合は具体的な内容をご記入願います。  
結婚されていない方は、結婚しているものと想定してお答えください。



- 結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける
- 結婚を機に仕事をやめる
- 子どもが生まれるのを機に仕事をやめる
- 介護を機に仕事をやめる
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く
- 就職しない
- その他・無回答

自身の働き方について聞いたところ、理想・現実ともに、女性は『再就職型』と回答した割合（理想 45.7%、現実 36.6%）が最も高く、男性は、『就業継続型』（理想 66.2%、現実 63.8%）が最も高い。

配偶者の働き方について聞いたところ、理想・現実ともに、女性は『就業継続型』と回答した割合（理想 65.4%、現実 64.9%）が最も高く、男性は『再就職型』（理想 44.0%、現実 40.5%）が最も高くなっている。

「就業継続型」...「結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける」が該当

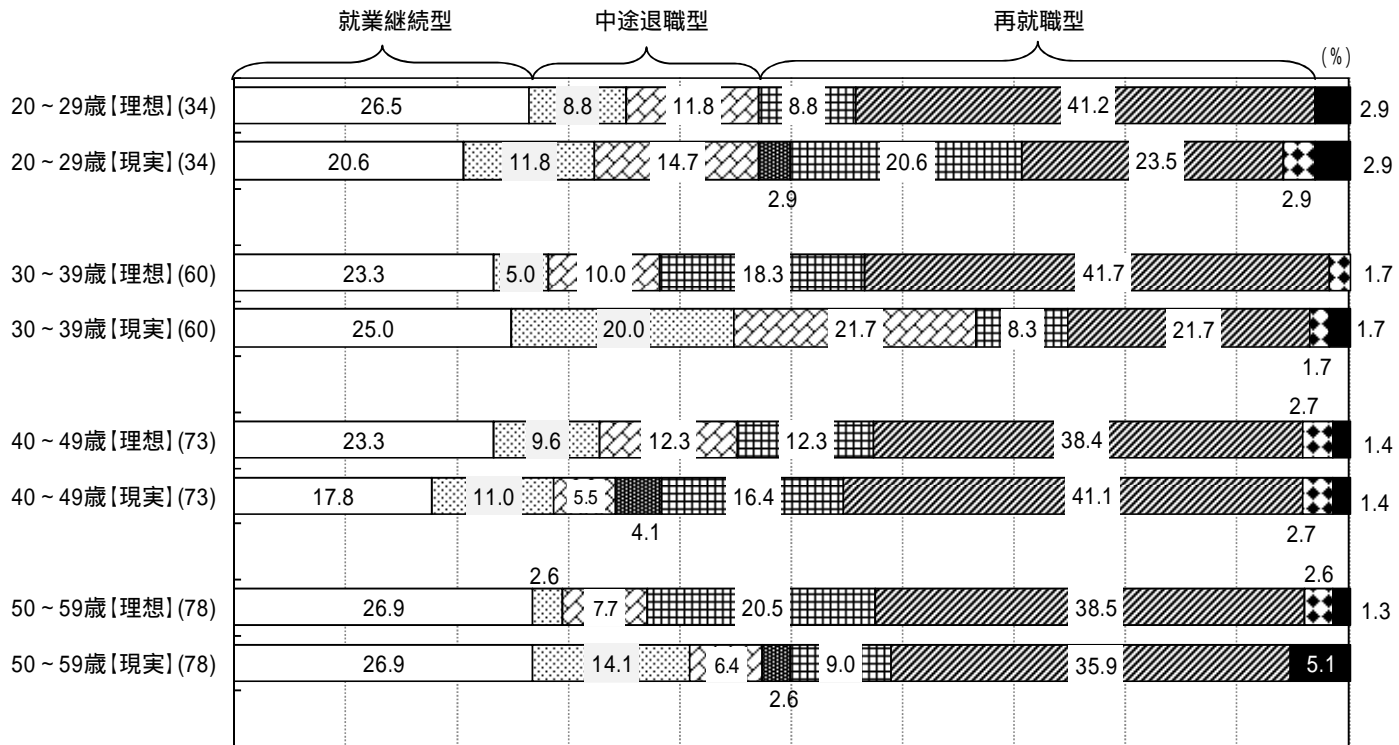
「中途退職型」...「結婚を機に仕事をやめる」「子どもが生まれるのを機に仕事をやめる」「介護を機に仕事をやめる」が該当

「再就職型」...「育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く」「育児・介護等で仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く」が該当

# 働き方

## (ア)自身の働き方の理想と現実

【年代別、女性】 20代～50代



- 結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける
- 結婚を機に仕事をやめる
- ▣ 子どもが生まれるのを機に仕事をやめる
- 介護を機に仕事をやめる
- ▣ 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く
- ▣ 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く
- 就職しない
- その他・無回答

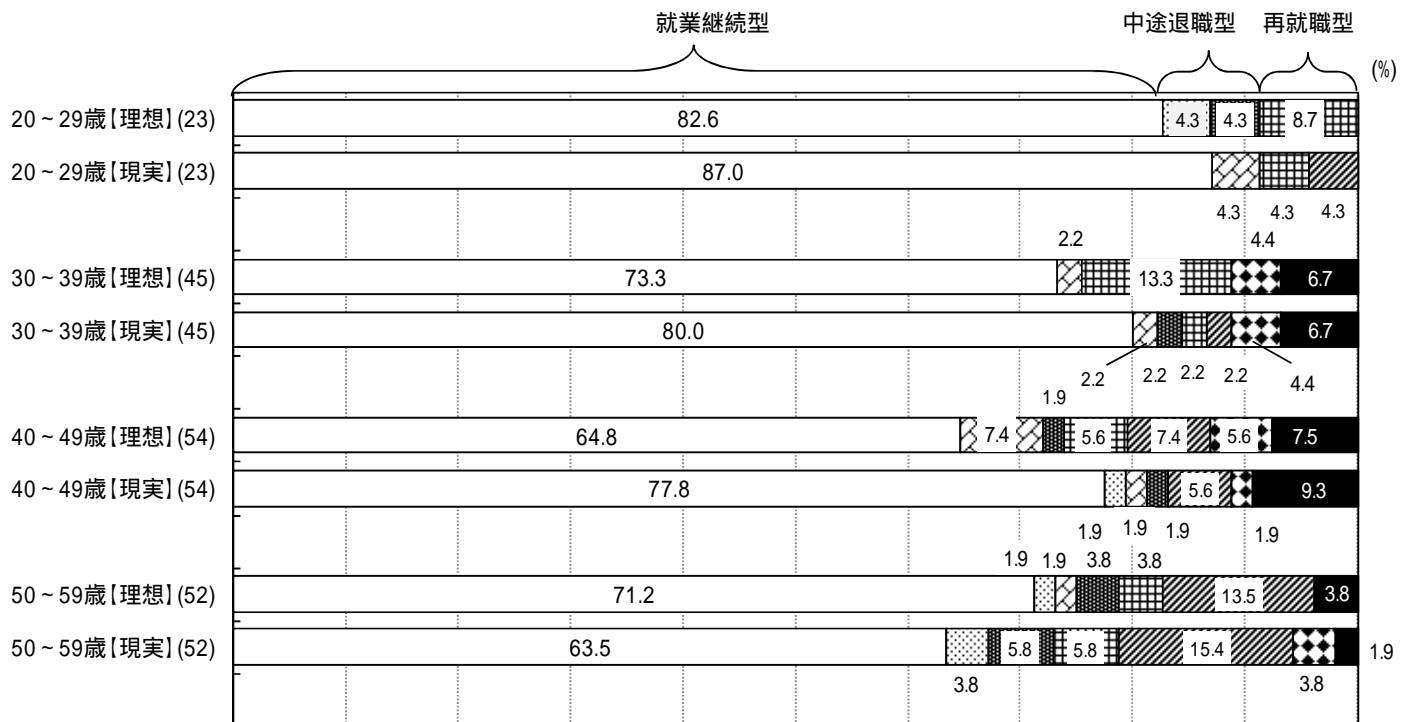
女性は全年代で『再就職型』の短時間勤務型を理想と回答した割合が高くなっているが、20代と30代では現実(20代 23.5%、30代 21.7%)が、理想(20代 41.2%、30代 41.7%)より、それぞれ17.7ポイントと20.0ポイント低くなっている。また30代では、『中途退職型』を理想とした回答の15.0%に対し、現実では41.7%と26.7ポイント高くなっており、結婚や育児を機に中途退職した後、再就職が難しくなっていることがうかがえる。

『就業継続型』では、20代と40代で、現実(20代 20.6%、40代 17.8%)が、理想(20代 26.5%、40代 23.3%)よりそれぞれ5.9ポイント、5.5ポイント低くなっている。

50代では、『再就職型』でフルタイムの勤務を理想とする割合が20.5%と高いが、現実では9.0%と11.5ポイント低くなっており、フルタイムの勤務を理想としていても、実際には困難となっていることがうかがえる。

# 働き方

【年代別、男性】 20代～50代



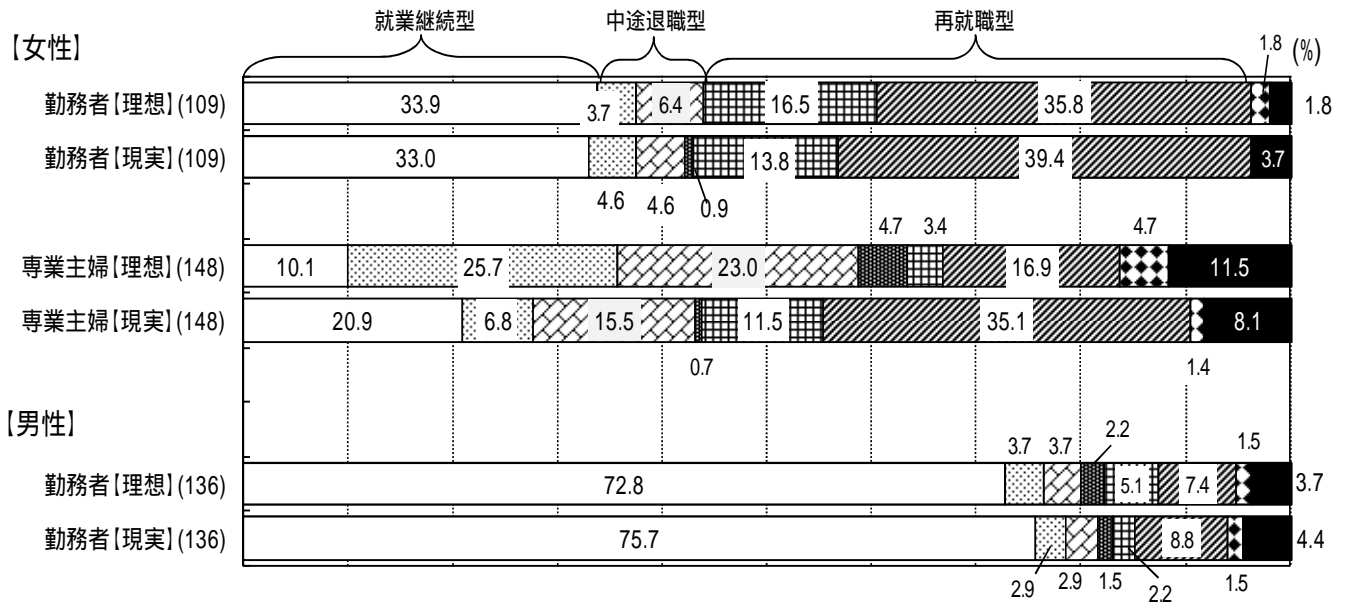
- 結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける
- 結婚を機に仕事をやめる
- 子どもが生まれるのを機に仕事をやめる
- 介護を機に仕事をやめる
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く
- 就職しない
- その他・無回答

男性は全ての年代で現実・理想とも『就業継続型』の割合が最も高い。50代をのぞいて『就業継続型』を理想と回答した割合より、現実で『就業継続型』と回答した割合が高く、本人の理想に関係なく就業を継続していることがうかがえる。

年代が上がるにつれて、現実で『再就職型』と回答した割合が増えており、育児や介護等により一時仕事をやめて再度就職をすることになった層が、年代が上がるにつれ多くなっていることがうかがえる。

# 働き方

## 【働き方別】



- 結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける
- 結婚を機に仕事をやめる
- 子どもが生まれるのを機に仕事をやめる
- 介護を機に仕事をやめる
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く
- 就職しない
- その他・無回答

男性については『専業主夫』の該当者がいない。

働き方別にみると、女性の勤務者については、理想でも現実でも『再就職型』と『就業継続型』の回答の割合が高い。『就業継続型』と『再就職型』のフルタイム型については、現実より理想で回答した割合が高くなっており、現実で『再就職型』の短時間勤務型と回答した割合(39.4%)は、理想(35.8%)と回答した割合より 3.6 ポイント高くなっている。

専業主婦については、『中途退職型』との回答が、理想が 53.4%に対し、現実では 23.0%と 30.4 ポイント低くなっており、現実では『再就職型』の短時間勤務型と回答した割合が 35.1%と、最も高くなっている。

男性勤務者では、理想でも現実でも『就業継続型』の回答の割合が高く、7割を超えている。

# 働き方

## (イ) 配偶者の働き方、理想と現実

### 【年代別】

#### 【女性】

\* 夫に対して

20～29歳(34)【理想】  
20～29歳(34)【現実】

30～39歳(60)【理想】  
30～39歳(60)【現実】

40～49歳(73)【理想】  
40～49歳(73)【現実】

50～59歳(78)【理想】  
50～59歳(78)【現実】

#### 【男性】

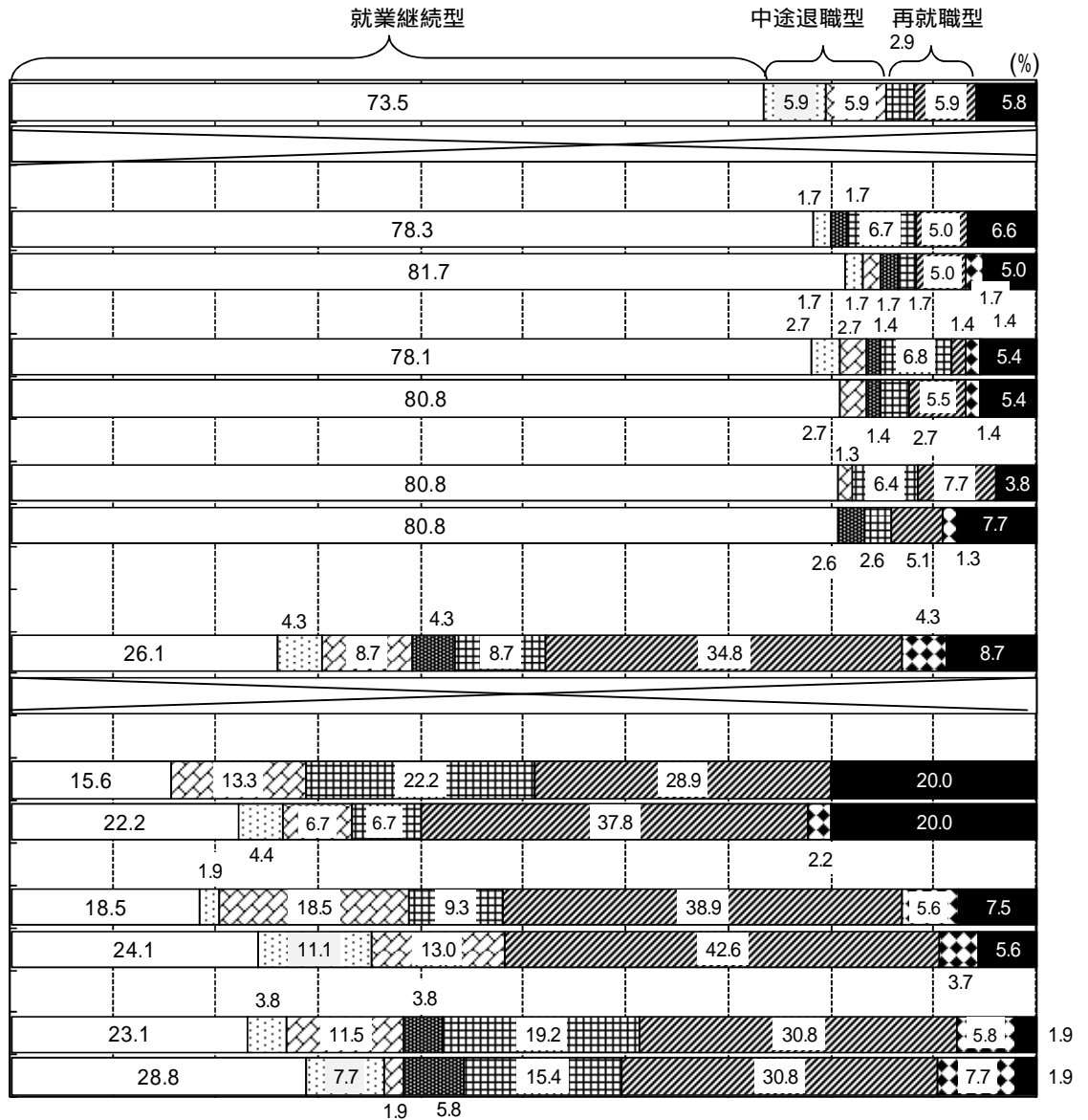
\* 妻に対して

20～29歳(23)【理想】  
20～29歳(23)【現実】

30～39歳(45)【理想】  
30～39歳(45)【現実】

40～49歳(54)【理想】  
40～49歳(54)【現実】

50～59歳(52)【理想】  
50～59歳(52)【現実】



- 結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける
- 結婚を機に仕事をやめる
- 子どもが生まれるのを機に仕事をやめる
- 介護を機に仕事をやめる
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く
- 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く
- 就職しない
- その他・無回答

20代は、既婚者が半数以下のため「現実」は集計外とする。

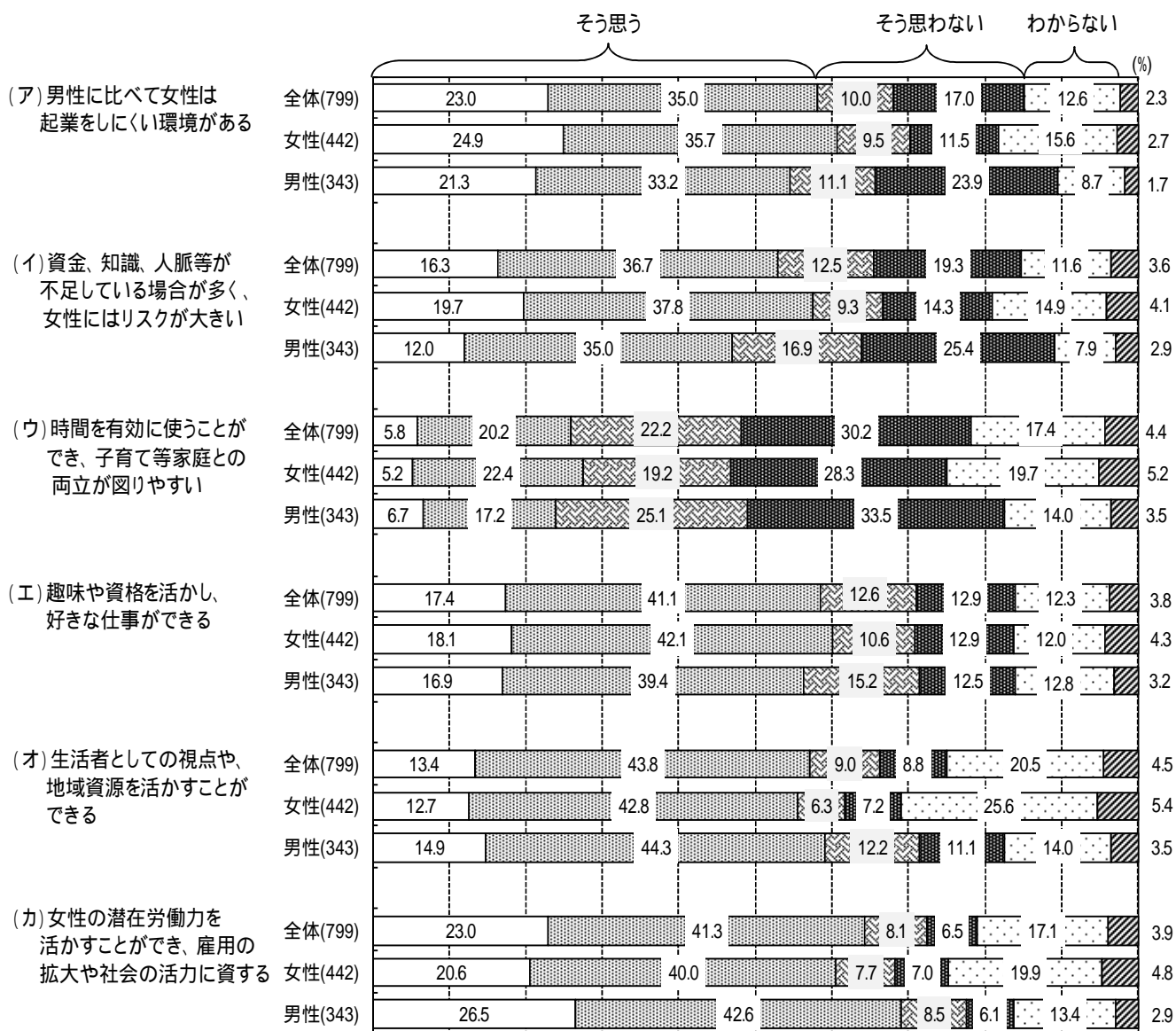
女性からみた配偶者の働き方の理想と現実を年代別にみると、全ての年代で理想・現実とも『就業継続型』と回答した割合が最も高く、全年代で7割を超えている。

男性からみた配偶者の働き方の理想と現実を年代別にみると、全ての年代で理想・現実とも『再就職型』の短時間勤務型と回答した割合が最も高く、どの年代においても、『就業継続型』を上回っている。

## 働き方

### (2) 女性の起業に関する考え方

問10. あなたは、女性が起業することについてどう思いますか。それぞれについて一番近い考え方の番号ひとつにをつけてください。



□そう思う   ■どちらかといえばそう思う   ▨どちらかといえばそう思わない   ■そう思わない   □わからない   ▨無回答

女性の起業についての考え方を聞いたところ、最も『そう思う』とした回答した割合が高かったのは「女性の潜在労働力を活かすことができ、雇用の拡大や社会の活力に資する」で、女性 60.6%、男性が 69.1%で、特に男性で『そう思う』とした回答した割合が高かった。

女性では、「男性に比べて女性は起業しにくい環境がある」についても『そう思う』が 60.6%で、『そう思う』と回答した割合は男性（54.5%）に比べ 6.1 ポイント高かった。

一方、最も『そう思わない』という回答の割合が高かったのは、「時間を有効に使うことができ、子育て等家庭との両立が図りやすい」で、男女双方とも『そう思う』（女性 27.6%、男性 23.9%）より、『そう思わない』（女性 47.5%、男性 58.6%）と回答した割合が高かった。



## 働き方

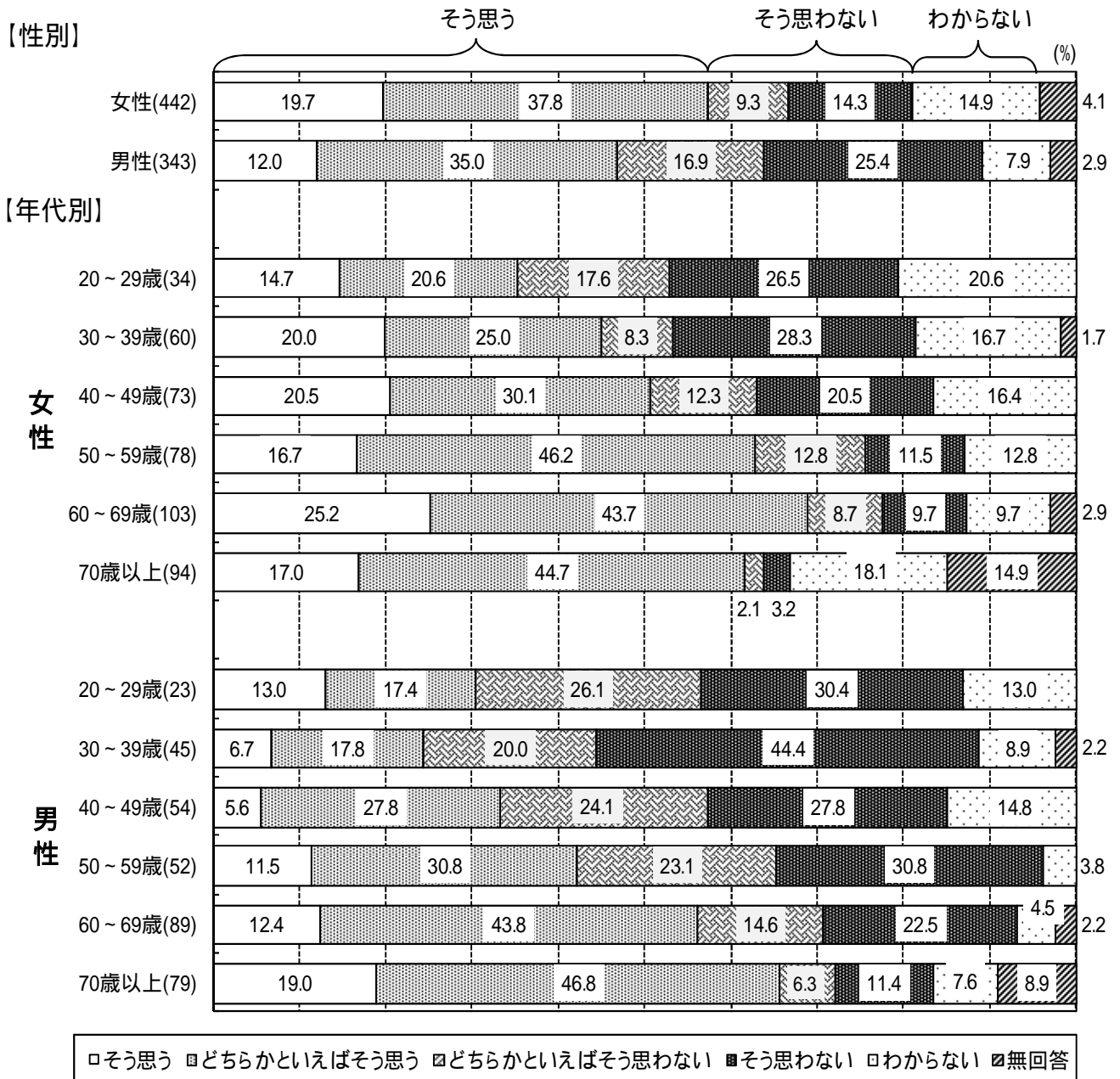
(イ) 資金、知識、人脈等が不足している場合が多く、女性にはリスクが大きい

女性の57.5%、男性の47.0%が『そう思う』と回答しており、どちらも『そう思う』と回答した割合が『そう思わない』と回答した割合より高くなっているが、男性では『そう思う』47.0%に対し、『そう思わない』が42.3%と拮抗している。

【年代別】

女性ではほとんどの年代で『そう思う』と回答した割合が高くなっているが、20代女性では『そう思わない』(44.1%)と回答した割合が、『そう思う』(35.3%)と回答した割合より高い。

男性では、20歳代から50歳代で『そう思う』より『そう思わない』と回答した割合が高くなっており、性別や年齢による意識の差が見られる。







## 働き方

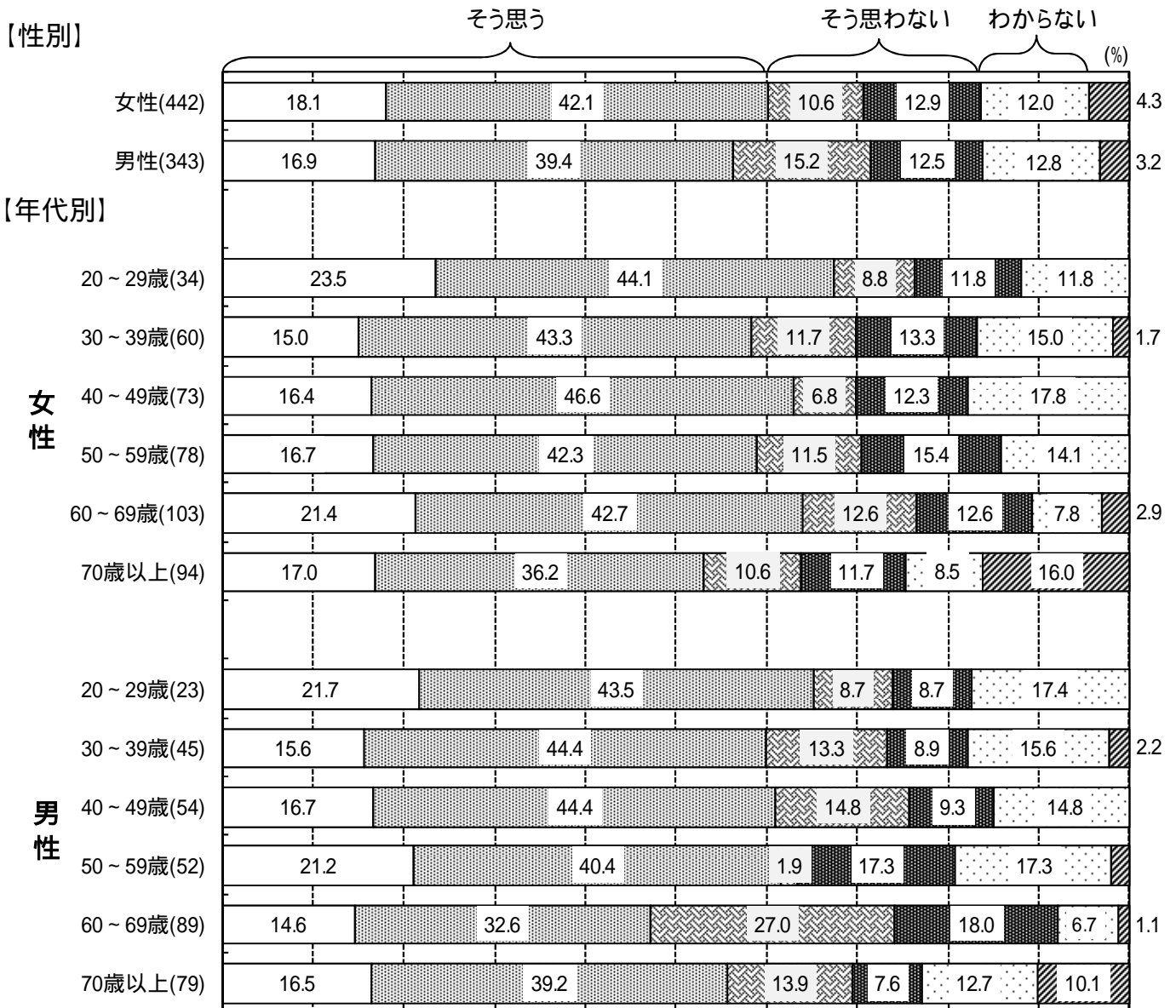
### (エ) 趣味や資格を活かし、好きな仕事ができる

女性の 60.2%、男性の 56.3%が『そう思う』と回答しており、どちらも『そう思う』という回答が5割を超えている。男性と女性では、女性の方が『そう思う』と回答した割合が高い。

#### 【年代別】

男女とも全ての年代で『そう思う』と回答した割合が高くなっているが、60代男性では、『そう思わない』(45.0%)と回答した割合が高くなっており『そう思う』(47.2%)と回答した割合と拮抗している。

#### 【性別】



□そう思う ■どちらかといえばそう思う ▨どちらかといえばそう思わない ■そう思わない □わからない ▩無回答

# 働き方

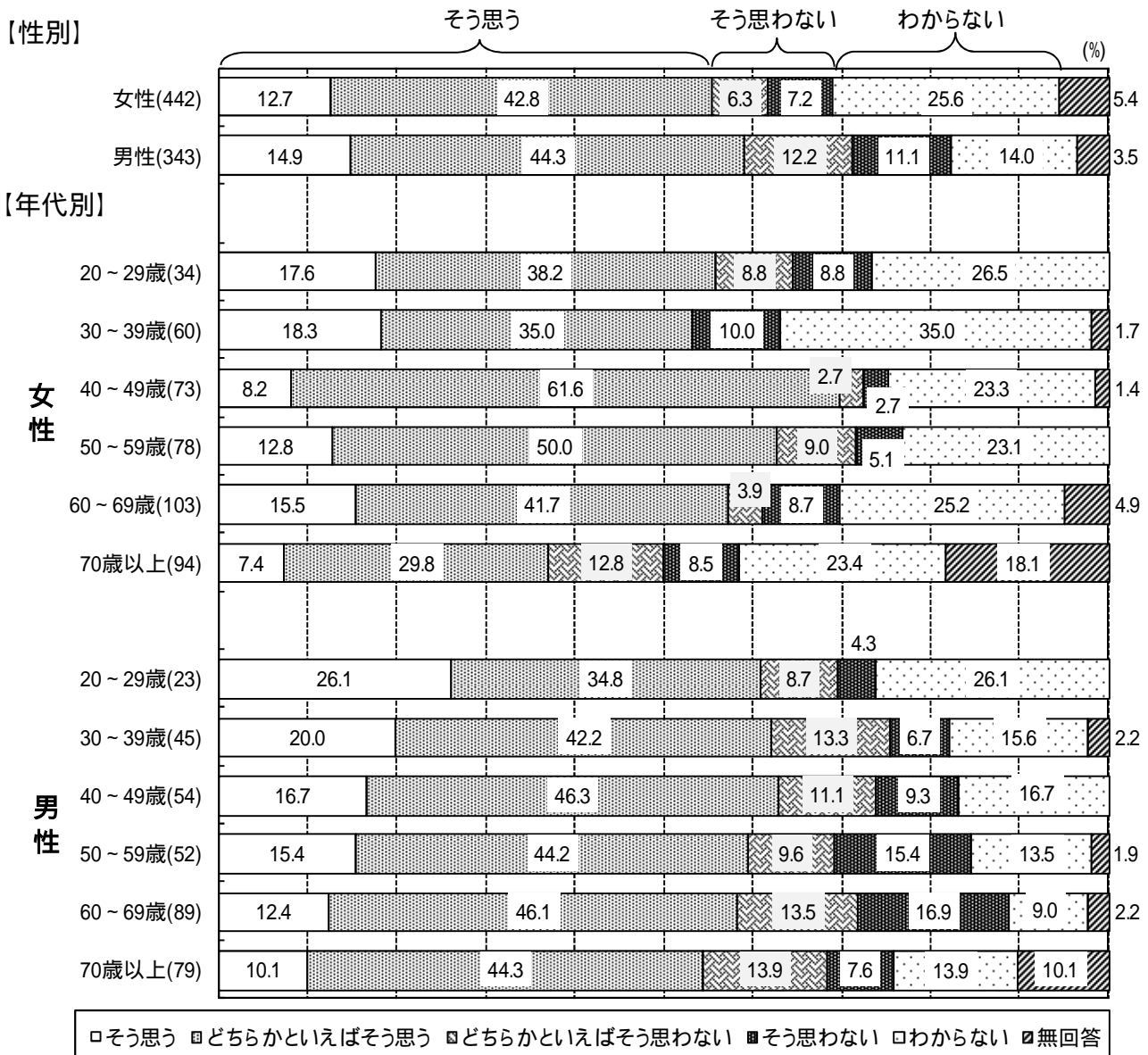
(オ) 生活者としての視点や、地域資源を活かすことができる

女性の 55.5%、男性の 59.2%が『そう思う』と回答しており、どちらも『そう思う』という回答が5割を超えている。男性と女性では、男性の方が『そう思う』と回答した割合が高い。

【年代別】

男女とも全ての年代で『そう思う』と回答した割合が『そう思わない』と回答した割合より高くなっている。特に40代女性は、『そう思う』と回答した割合が69.8%で、全年代の中で最も高い。

一方70歳以上女性では、『そう思う』とした回答の割合は37.2%で、全年代の中で唯一5割以下となっている。



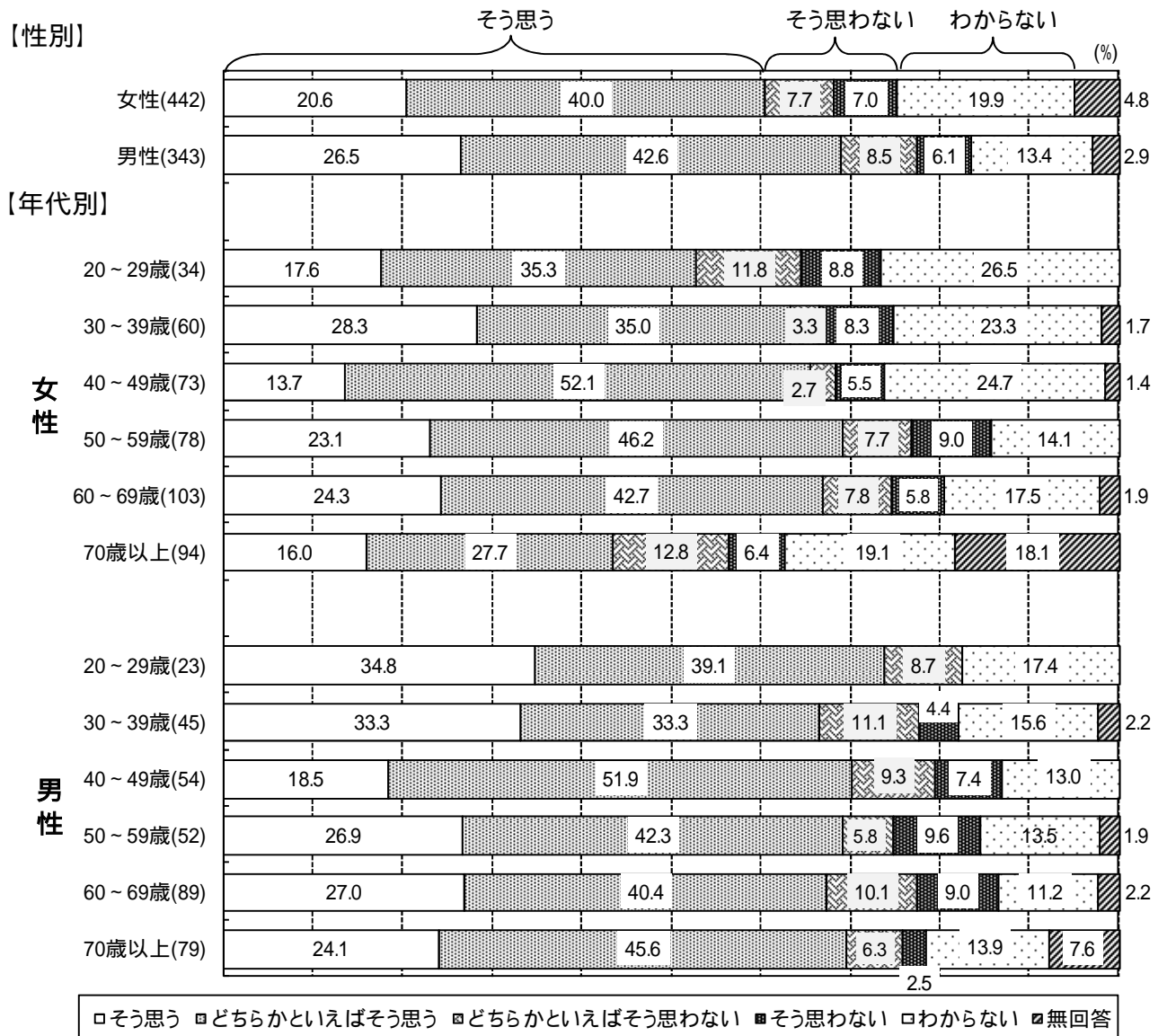
## 働き方

(カ) 女性の潜在労働力を活かすことができ、雇用の拡大や社会の活力に資する

女性の60.6%、男性の69.1%が『そう思う』と回答しており、どちらも『そう思う』という回答をした割合が6割を超え、高くなっている。男性と女性では、男性の方が『そう思う』と回答した割合が高い。

【年代別】

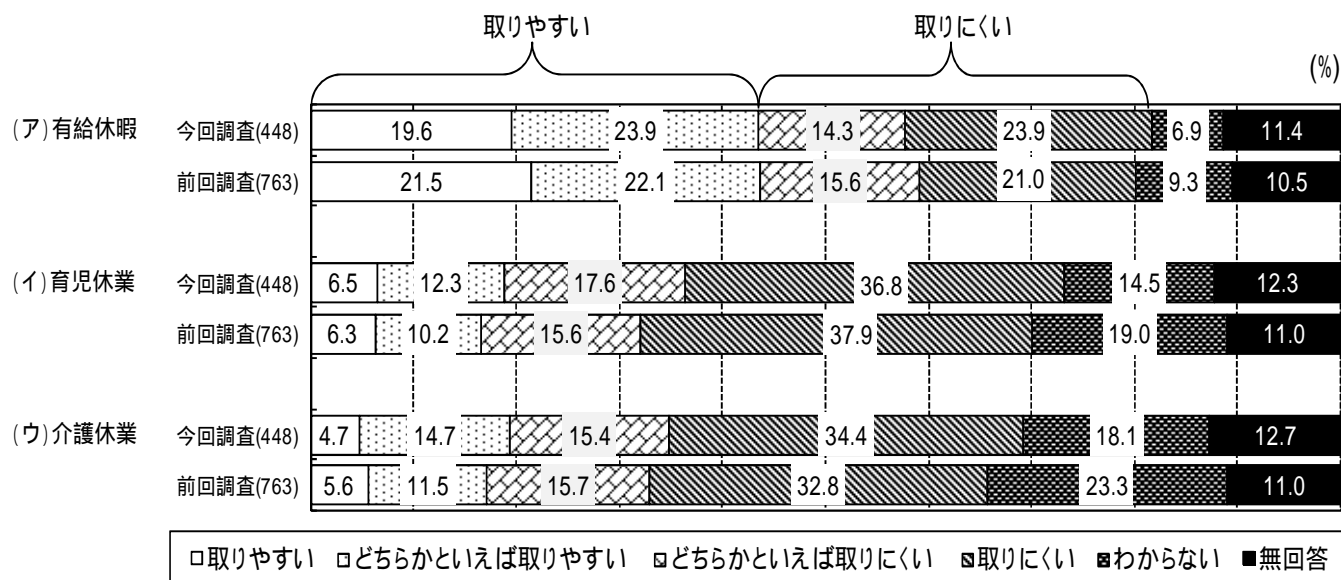
男女とも全ての年代で、『そう思う』と回答した割合が『そう思わない』と回答した割合より高くなっている。ほとんどの年代で女性より男性の方が『そう思う』と回答した割合が高く、特に20代男性は『そう思う』と回答した割合が73.9%で、全年代の中で最も高い。



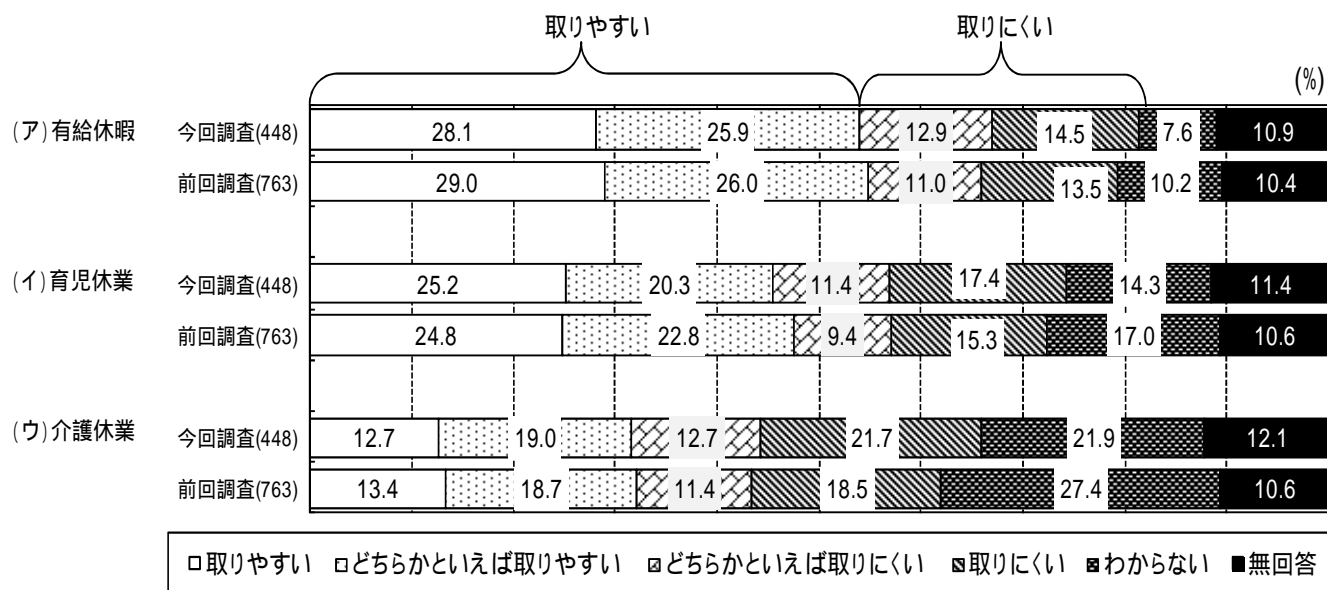
## 働き方

### (3) 有給休暇、育児・介護休業の取りやすさ

問11.(1) あなたの職場では、男性職員が有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。それぞれ下の選択肢から該当する番号ひとつにをつけてください。



(2) また、あなたの職場では女性職員が有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。それぞれ下の選択肢から該当する番号ひとつにをつけてください。



「有給休暇」「育児休業」「介護休業」ともに、男性職員よりも女性職員のほうが『取りやすい』という回答の割合が高くなっており、育児休業では26.7ポイント、介護休業は12.3ポイント、有給休暇は10.5ポイント、女性のほうが上回っている。

男性職員の休暇の取りやすさでは、有給休暇(43.5%)、介護休業(19.4%)、育児休業(18.8%)の順であり、「育児休業」と「介護休業」は、『取りにくい』が多くなっている。

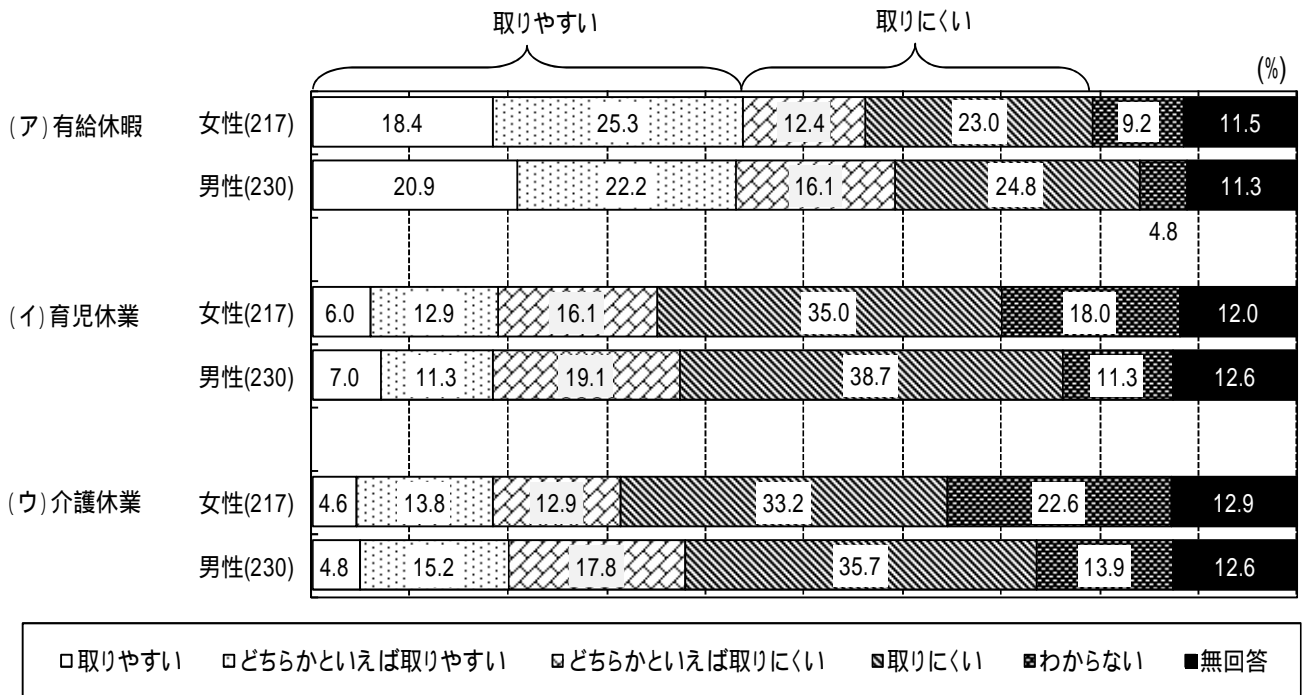
女性職員の休暇の取りやすさは、有給休暇(54.0%)、育児休業(45.5%)、介護休業(31.7%)の順となっている。

#### 【前回調査(平成21年)との比較】

休暇・休業の取りやすさについては、男性職員も女性職員も、前回とほとんど変わっていない。

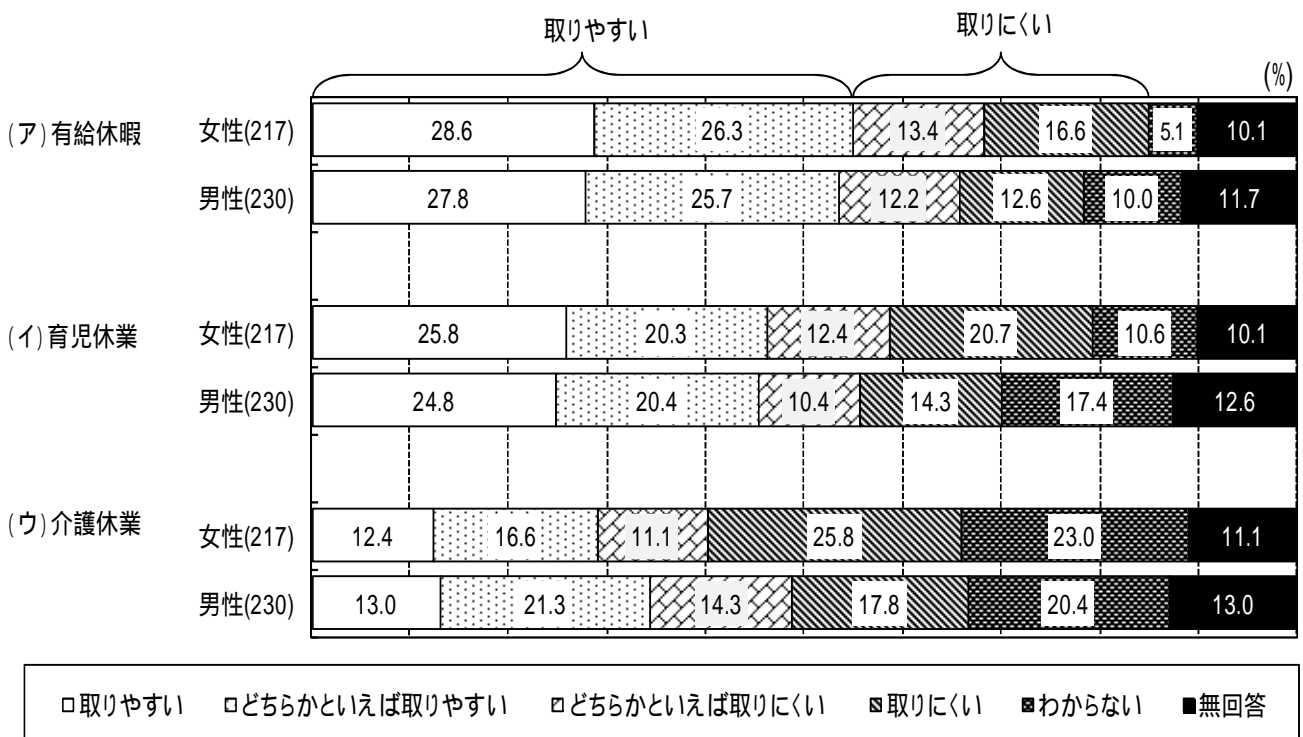
## 働き方

【男性職員の取りやすさ(男女別回答の比較)】



男女別に比較すると、育児休業・介護休業において、女性よりも男性自身の方が、取りにくいと感じていることがわかる。

【女性職員の取りやすさ(男女別回答の比較)】



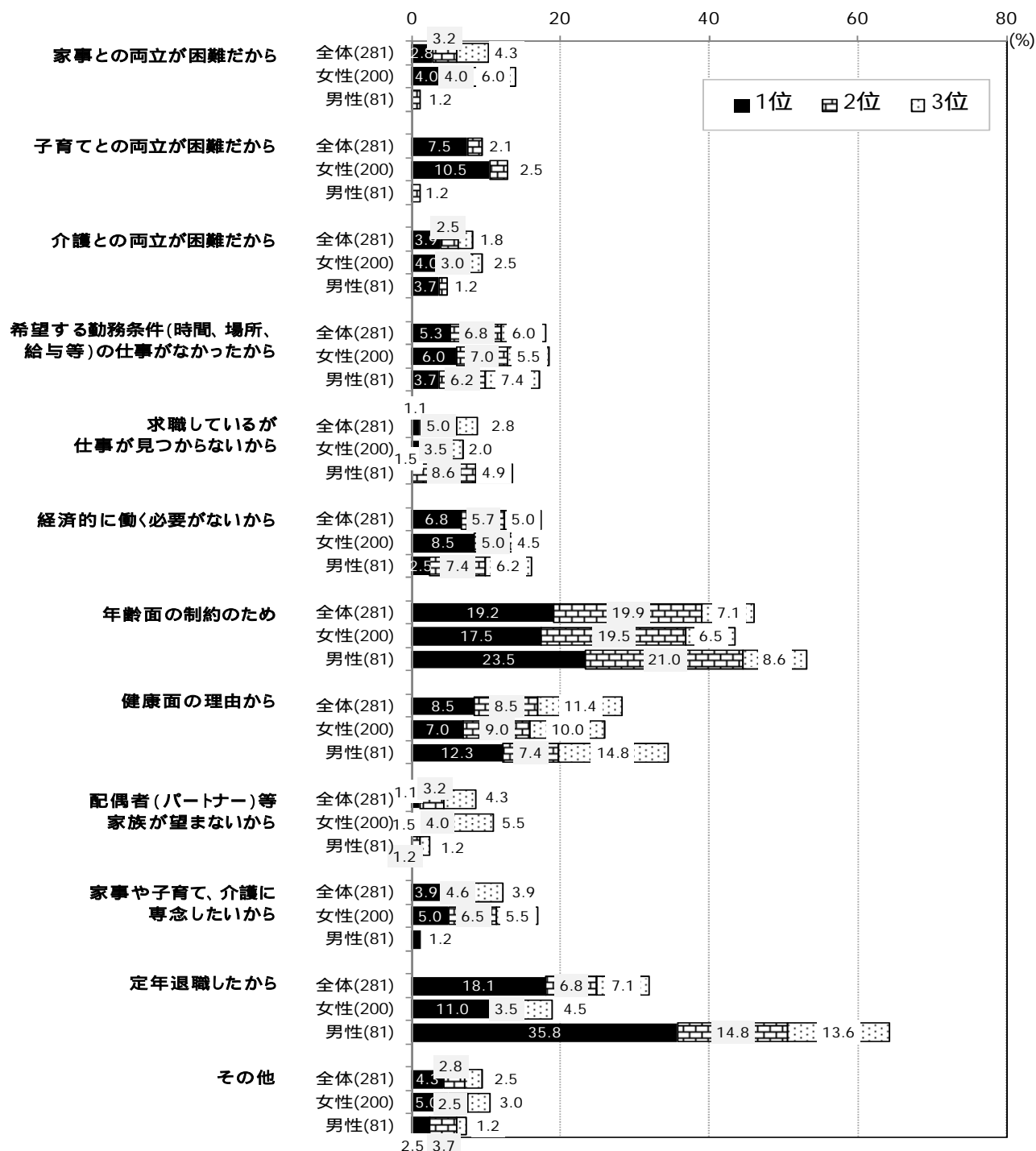
男女別に比較すると、介護休業では、女性自身よりも男性の方が、女性職員が『取りやすい』と感じているが、有給休暇や育児休業については、大きな差はない。

# 働き方

## (4) 働いていない理由

問12. あなたが働いていない理由は何ですか。その理由としてあてはまるものを三つまで選んで、その中から最もあてはまると思う順に該当する番号を記載してください。

現在働いていない方(学生は除く)のみ回答



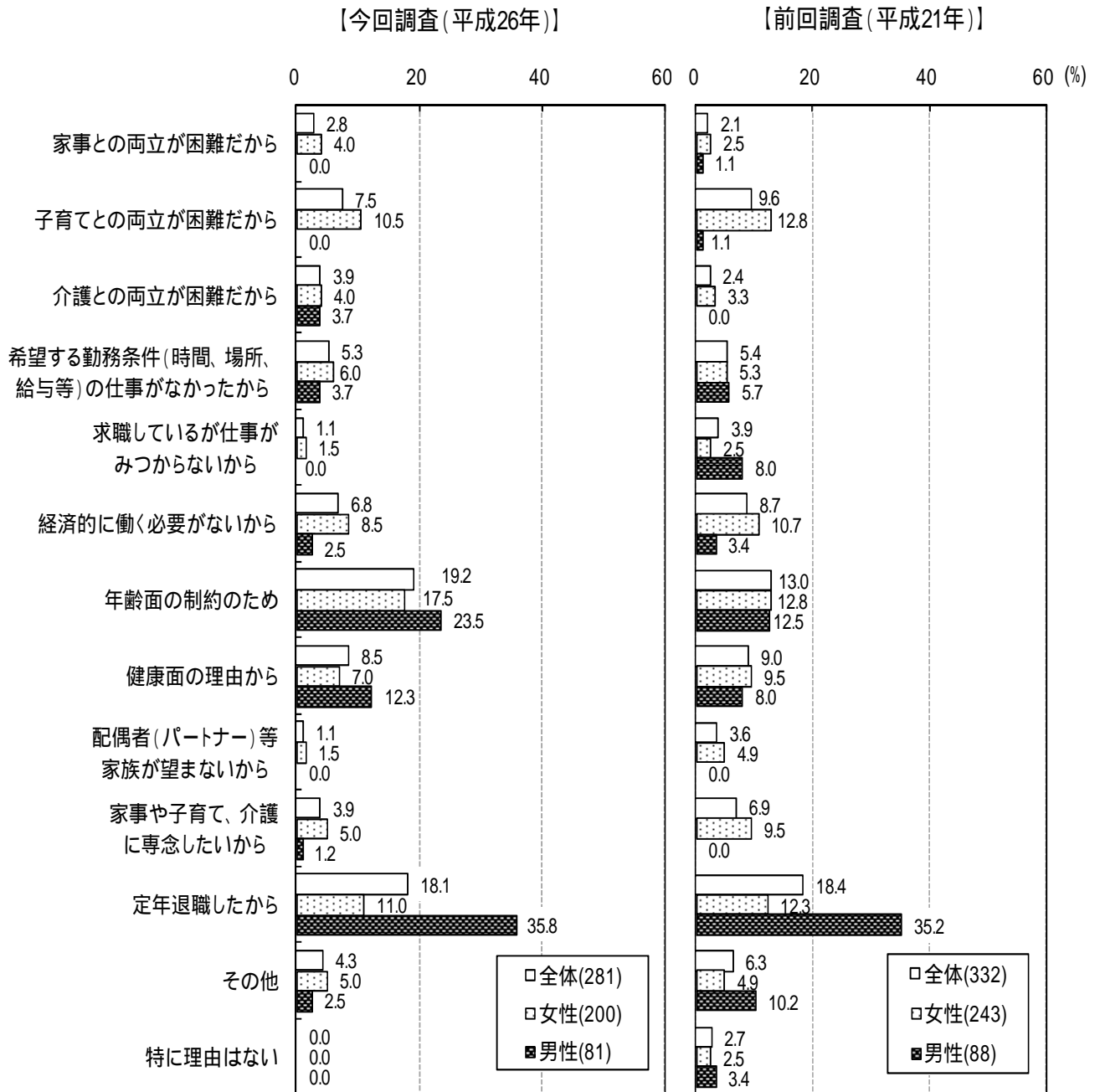
現在働いていない人にその理由をその理由をあてはまる順に3つまでたずねたところ、全体では『年齢面の制約のため』が最も多かった。

『定年退職したから』は、男性では64.2%、女性では19.0%で、45.2ポイントの差がある。男性では、子育て・家事を理由とする割合はごく少なく、第1位の理由として挙げた人はいなかった。

# 働き方

【前回調査(平成21年)との比較】

前回は選択肢をひとつとしていたため第1位とされた理由のみで比較



平成21年に実施した前回調査と比較すると、『年齢面の制約のため』が大幅に増加している。

女性の『家事や子育て、介護に専念したいから』『子育てとの両立が困難だから』は若干減少しているが『家事との両立が困難だから』『介護との両立が困難だから』は若干上昇している。

『求職しているが仕事が見つからないから』は、男性では該当が無くなるなど、男女共に減少している。



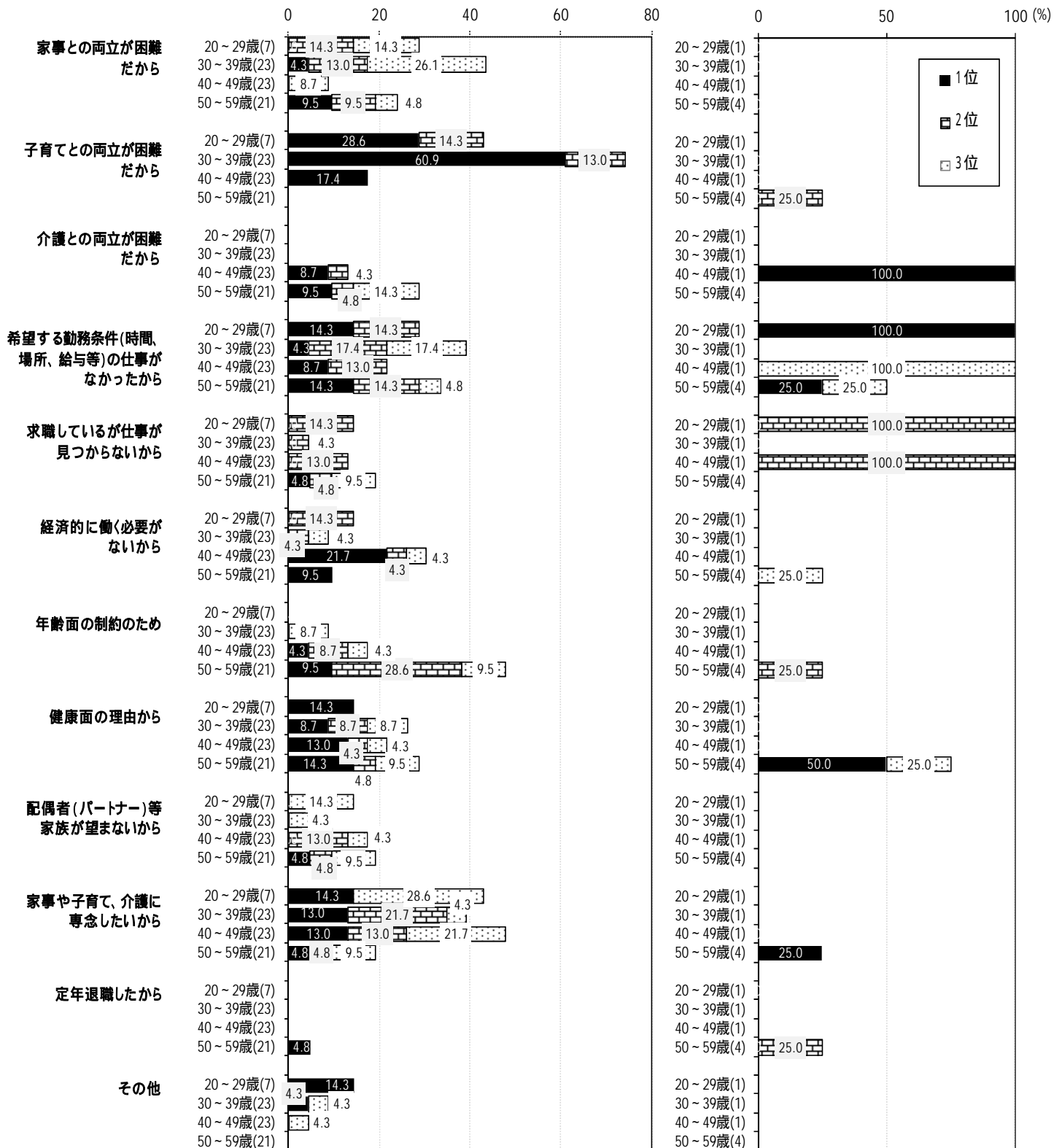
# 働き方

【年代別】

20代~50代

【女性】

【男性】



女性において、『子育てとの両立が困難だから』は、40歳未満の割合が高く、30代は第1位の理由としてあげた人だけで60.9%と突出している。

男性は該当者が少ないため、参考とする。